



続報 9月県議会
一般質問

日本共産党 Japanese Communist Party

命・個人の尊厳を守る 積極的な提案を示しました

盛り土 崩落

加藤…盛り土規制の法整備を国に求めつつ、実効ある県条例の制定を

「(全国知事会) 建設残土規制の法制化を要望。今後、課題を整理」(県)

県は、約3400箇所の盛り土点検を予定。残土処分、宅地造成、林地開発、農地転用など、個別の縛りはありますが、盛り土に焦点をあてた規制はありません。国に法整備を求めるとともに、盛り土そのものを厳しく規制する県条例制定を提案しました。

通学路 の安全

加藤…情報を共有し、県に横断的に安全対策をとる体制をつくるべき

「市町村教育委が、警察、道路管理者等と協議し対策を進めている」(県)

県教委の緊急一斉点検では、危険箇所は3495箇所。10月末までに対策案を検討・作成する予定です。市町村教育委は、通学路交通安全プログラムに基づく点検を行っています。その結果を県教委も掌握し、安全対策をすすめることや、全県的に原則毎年全校での点検を求めました。県教委は「連携、協力」と言いつつ、「市町村教育委が安全対策に取り組んでいる」との姿勢です。

今年度の信号機新設は15基。大幅増設へ補正予算を提起し、県警本部長は「信号機が必要となれば、道路管理者等との調整を要する。来年度以降対応」と答えました。

校則の 見直し

加藤…黒染スプレーへの県弁護士会「警告書」をどう生かしていくのか

「本人の同意に基づく適切な指導」などと強弁(県)

県弁護士会は、県立高校で生徒に黒染スプレーをかける指導は「体罰に準じる」「憲法13条自己決定権、21条表現の自由を侵害」「有形力(実力)の行使してはならない」と、厳しく断罪しています。しかし県教委は「改善が見られない生徒を各種行事や授業等に出席させるため」などと言い張りますが、生徒を数人の教師が取り囲む状態で「指導に従わないから、同意したから」などと言って、生徒の人権・尊厳をふみにじることは許されません。しかも、黒染スプレーをかけた学校は、2019年度25校から2020年度37校に増えています。

室温34.2度! 柏児童相談所のエアコン故障放置を追及した質疑が反響を呼んでいます。「県の謝罪はない。人事委員会(公務職場の労働環境の指導監督権限)も他人事」「すぐさま現場に駆けつけ調査し、事実の強みがある質問だった」などの声が寄せられました。

